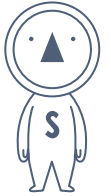




報道関係者各位

2019年5月30日
株式会社島田電機製作所



創業 86 年目 オーダーメイドのエレベーター表示器専門メーカー 5 代目社長 世界に誇れるグローバル・ニッチトップ企業を目指す

オーダーメイドの国内シェア 6 割超え 海外進出や自社製品の開発で、脱下請けの自立した 100 年企業へ

エレベーター用表示器の製造・販売をおこなう株式会社島田電機製作所(本社：東京都八王子市、代表取締役社長：島田正孝)は、今年で創業86年目を迎える日本で唯一のエレベーターに特化したオーダーメイド意匠器具の専門メーカーです。開発・設計から製造・組立・検査まで一貫したワンストップのものづくりと長年の知見を強みとして、大手エレベーターメーカーの依頼を受けて、オーダーメイドでデザイン性の高いホールランタンやエレベーターボタンなどの意匠器具を短期間で製造しています。

代表取締役社長の島田正孝は、2013年に5代目社長に就任し、現在6年目を迎えています。

■前社長からかけられた衝撃の言葉で、『時代を越えて発展していく』会社づくりを決意

1990年、島田は専門学校卒業後、父親が2代目社長を務める中、関連会社に就職して経験を積み、その後当社の工場長、専務として、キャリアを積んでいきました。

2000年、他企業に長年勤めていた島田の叔父にあたる清四郎が4代目の社長に就任した際、島田は清四郎から『井の中の蛙、大海を知らず』との言葉をかけられました。その言葉は、まさにその時の自分や会社の実態を表す言葉だと気づき、島田の中で衝撃と共に、強烈なくやしさがこみ上げました。それまでの社内は、品質を一定に保持するための作業基準やルールが明確化されておらず、職人の感覚で作業し、声の大きい人の言うことがルールになっていました。

また、人事制度などの社内制度も確立されたものではなく、勤続年数や年齢が重視される年功序列制度が常態化していました。

これでは、時代の変化に適応できず、この先の会社の発展は難しいと気づかされた島田は、『良い会社とは何か』を考え、この会社を『信頼される会社』、『頑張った人が評価され、若い人材が成長できる会社』にすることを決意しました。



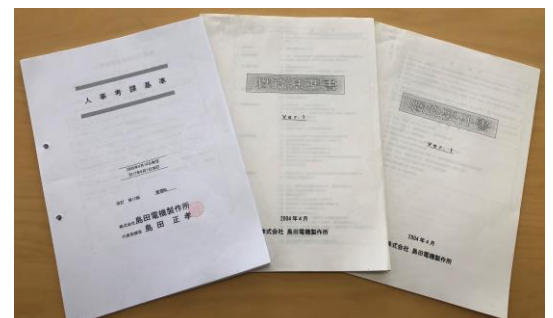
5代目社長 島田正孝

■大改革の柱は『ISOの取得』と『人事制度の刷新』

島田は、誰が作っても一定レベルの製品を安定して製作できる基準に、制度を盛り込んだ品質マネジメントシステム“ISO”と、会社の発展を目指して頑張る人を正しく評価できる“人事評価システム”を大きな2本の柱として、前社長とともに大改革を開始しました。

中でも難航したのは、年齢や勤続年数ではなく、「行動と成果」で評価する人事制度の刷新で、長年古い体制の中で勤めてきた社員には受け入れられず、半数の社員が辞めていきました。

そんな状況の中でも、「正しい評価ができる会社をつくる」という強い信念を持ち、過去にとらわれず前を向き、前社長と共に社内制度の改革に力を注ぎました。



当時作成した人事考課基準書

■新たな市場開拓と下請けからの脱却を目指し、海外進出に挑戦

当社は、戦後の高度経済成長期のビル建設の需要と共に成長してきましたが、バブル崩壊やリーマンショックなどの度重なる経済不況にも大きく影響を受け、新設エレベーターの台数が減少していく中で、今後の国内市場の需要に限界を感じるようになっていきました。島田は、会社をさらに発展させていくためには、国内大手エレベーターメーカーの下請けだけでやっていくのではなく、自分たちの強みをつくり、それを見せていかなくては生き残れないと感じ、意匠器具メーカーとしての自立が必要と考えました。また、島田は、同族会社を経営する家庭に生まれた自分が、このままずっと日本で一生懸命やっただけでは、誰からも認めてもらえないのではないだろうかという想いを抱くようになり、「実力を認められたい」という想いを原動力にして、2007年に中国進出を決意しました。

当時の中国は、日本の数十倍の市場規模があり、高層建築物の需要が急増している時期で、世界の多くのエレベーターメーカーや部品メーカーが参入していました。さらに、中国人はデザインにユニークさや奇抜さを求める傾向があり、当社のおこなう意匠品のモノづくりは受け入れられるという期待がありました。

日本では、お客様に改めて会社紹介をする必要がなかった島田でしたが、誰も当社を知らない中国では、エレベーター関連会社に会社紹介や製品紹介を行うために、日々訪問活動を続けました。

しかし、「質よりも量」「安くて良いもの」を重視する中国では、「どんなデザインでも作れるっていうけど、一体いくらで何個作れるの?」と言われ、島田は中国で求められる製品を自社で開発し、当社ができることを盛り込んだ製品ラインナップと価格を明確化する必要性を感じました。そこで、島田は、半年後には中国で自社工場の設立を決断し、2008年から5年間中国に生活の拠点を移し、市場拡大と自社製品開発に没頭しました。



2007年 中国向けに開発した
自社製品「壁掛けランタン」



上海島田の自社工場

自社工場設立後は、日本と同様に自社工場で一貫生産できるワンストップの生産体制を敷き、質の高い“日本のモノづくり”が現地で大きな評価を得ることができました。また、自社製品の開発に積極的に取り組み、初めて中国向けに開発したLEDを使った壁掛け式の自社製品は、壁に穴を開けずに設置ができる画期的な構造の先駆けとなり、今では大手エレベーターメーカーから毎月1,500~2,000個の受注があります。現在、中国ではオーダーメイドの受注生産だけでなく、自社製品の量産品受注が売上げの4割を占め、下請けから自立したメーカーへの礎を着実に築き、上海島田の売上は設立当初の3倍以上に成長しました。

■世代交代 大切なのは“次の世代にバトンを渡す心づもり”



前社長退任式で記念品を贈呈する島田

4代目社長の清四郎は、これから当社が時代を越えて発展していくには何が必要かを考え、海外進出と自社製品開発は、将来島田が社長に就任する前に成し遂げるべき重要なことだと判断し、島田と共に改革を進めていきました。

清四郎は、2000年の社長就任以来、ずっと島田にバトンをつなぐ心づもりをしながら、時代の流れや良いタイミングを見計らっていました。そして、ついに2013年、上海工場が軌道に乗ったことを見届け、築70年以上経ち老朽化した鳥山の工場を八王子に移転するタイミングで、“社長”のバトンを島田に託しました。

現在、島田は清四郎の精神を引き継ぎ、社長の座に固執することなく、会社の発展のために自分よりも適した人材が出てきた際は、すぐにでも社長を交代するという想いで経営に臨んでいます。

そして、次の後継者が“この会社を後継したい”と心から望むような価値の高い会社に発展させていくことも、世代交代において重要なことと捉え、さらなる会社の発展に力を注いでいます。

■社員がここで働くことに誇りと喜びを持てる会社づくりを目指して



当社 3F に設置したリフレッシュルーム

島田は、社長就任後、『社員が満足していない会社では、お客様を満足させることはできない』という考えのもと、様々な取り組みを行ってきました。まず、もともと印刷工場だった工場の建屋をリノベーションし、事務所の仕切りを透明の亚克力板に変え、見通しの良い一体感が生まれる空間にしたり、ドアをカラフルに塗り替えたり、3Fの600平米の巨大空間を社員がリフレッシュできる遊び空間にしたりと、社員が心地よく働ける環境づくりに力を注ぎました。

また、島田は、『社員が心も体も元気にイキイキ働けることが大切』と考え、社員の健康や美に対する意識の向上を目的に、様々なイベントを開催しています。なおかつ八王子の地域の活性化にも貢献したいとの想いから、昨年の冬は地元の管理栄養士と農園にご協力いただき、『スープの日』と題して、毎週木曜日に社員に温かい栄養満点のスープを提供したり、八王子にある山野美容芸術短期大学とコラボし、工場内で学生による『1日限定の美容サロン』を開設したりしました。

社員からは、「野菜を食べるきっかけになった」「会社が社員の健康を考えてくれていることが嬉しい」という声や、「美容サロンの体験で、きれいになると気持ち明るくなると感じた」「地域とのコラボイベントは、様々な人とコミュニケーションが取れる機会になって楽しい」などの声が上がっています。

■「メーカーとしての自立」と「社員一人ひとりの自立」を兼ね揃えた 100 年企業へ

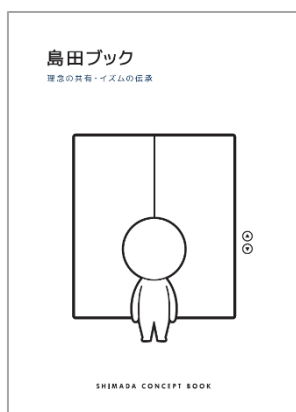
島田は、昨年、自社ブランド『SHIMAX』を立ち上げ、メーカーとしての自立を目指して、新たな挑戦を始めました。

高級感がありデザイン性の高い「オーダーメイド品」と、低価格と多様な取付環境に順応できる機能性が強みの「規格品」を融合し、“低価格でカッコイイ”をコンセプトにブランドを運営していきます。



SHIMAX 壁掛け式製品ラインナップ

また、今後は大手エレベーターメーカーだけでなく、独立系の保守・メンテナンス会社や海外のエレベーターメーカーにも広く販売していくことで、エレベーター用意匠器具のグローバルスタンダードを目指していきます。



2018 年に製作したブランドブック

社員が当社の理念やビジョンを共有できるよう、島田が2年越しで考案した島田ブック

島田は『社員の成長なくして会社の発展はない』との考えのもと、社員が当社で働くことで日々成長し、「当社だから通用する人材」ではなく、「どこにいても輝ける人材」を育てていきたいと考えています。そして、自立した多様な社員が同じビジョンを持って力を合わせることで、世界に誇る 100 年企業を目指していきます。



マスコットキャラクター『ボタンちゃん』と社員の集合写真

【会社概要】

社名 : 株式会社島田電機製作所
代表 : 島田 正孝
本社 : 東京都八王子市大和田町 3-11-1
ホームページ : <http://www.shimada.cc/>
TEL : 042-656-1401
設立 : 1949年2月24日 (創業1933年)
資本金 : 1,200万円
従業員数 : 55名
事業内容 : 各種エレベーター
エスカレーター用操作盤
表示器の製造及び販売



<本件に関する問い合わせ先>

島田電機製作所 広報事務局

TEL:03-5411-0066 FAX:03-3401-7788 E-mail : pr@netamoto.co.jp

担当 : 杉村 (携帯 : 070-1389-0175)

【参考資料】

■現在の人事考課の基準となる等級別人物像

等級別人物像		
作成：2015年8月		
10等級	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営者とビジョンや夢を熱く語り合い、社内外へ想いを大きく発信できる人 ■ 人の心を動かすことができる魅力的な人 	経営者
9等級	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営者と共に会社の理念、ビジョンに向かって大きく行動できる人 ■ 会社の持続的成功を考え、中長期計画を立案し、遂行できる人 	
8等級	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会社の方針、目標達成のため、強力に遂行できる人 ■ 自ら会社運営に関わる制度を見直し、より良い制度を構築できる人 ■ 自分の考え、想いを熱く語れる自立した存在感のある人 	
7等級	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仕事の仕組、仕掛を構築できる人 ■ 皆のモチベーションを高め、チームワーク、組織力を発揮させられる人 ■ 常に人を育てる気持ちを持って行動できる人 	管理者・指導者
6等級	<ul style="list-style-type: none"> ■ 誰よりも早く社内の変化や問題に気づき対策できる人 ■ 技術だけでなく働き方や考え方にも意識し、人の躰ができる人 ■ 皆の模範となり人から優秀だと思われる人 ■ 会社のセールスポイント、製品の特長について説明できる人 	
5等級	<ul style="list-style-type: none"> ■ 技術的知識が高く、人を育てるために行動できる人 ■ 社内の問題や課題、作業方法について周囲から相談を受ける存在 ■ 作業を標準化し、関係者へ周知徹底できる人 ■ 声が大きく皆を引っ張れる人 	
4等級	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自分の経験・ノウハウを人へ教え、周囲のパフォーマンスを高められる人 ■ 何をやるのかではなく何のためにやるのか目的を理解して行動できる人 ■ できない理由ではなく、どうやったらできるかを考えて前向きに行動できる人 	技術者・一般スタッフ
3等級	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自分の立場、役割の中で、自分の力を最大限に発揮できる人 ■ 問題意識を持ち新しい発想で作業を改善し、成果を上げられる人 ■ 日常の中で起こる問題を自分で解決へと導ける人 	
2等級	<ul style="list-style-type: none"> ■ 規則や基準、社内ルールを正しく理解し行動できる人 ■ 自分で考え自ら積極的に行動できる人 	
1等級	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指示を正しく理解し行動できる人 ■ 素直で前向きな人 	新人